

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス ボカラボットふじしま				公表日	2025年3月11日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	4	・建物入り口付近にカウンターを設置し入室時のチェックやスタッフの情報を共有する資料を集約する場所としている ・利用者が出入りする玄関に階段があるが、建物の小僧上必要なもので可能な限りゆるやかに改築済みである。また、手すりも増築した	・施設の入出口が階段である ・バリアフリーではない ・バリアフリーではない。部屋が分かれていないので、物理的に離れるのが難しい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1		・毎日掃除しているが行き届かないところがある
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	・静穏環境にいたいと利用者から感じるときは事務所に行きたい旨をスタッフに伝え入室するようにしている ・更衣スペースに留め具やプレートをつけたが、更に改善していきたい	・部屋が分かれていないので、物理的に離れるのが難しい
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・毎年実施しHPに公表している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・月に一度意見を募り、改善案を練る会議を設けている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	5		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9			・研修受講の案内はきていたが参加したことはない
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	1		・これから公表する予定である
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		・支援計画概要を利用日毎にまとめた資料を作成している ・その日の利用者の計画内容を打ち合わせで共有している	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		・利用者の行動を1日の終わりに記録している	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		・毎月会議を開き、チームで作成している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		・毎月1度、活動検討ミーティングを行っている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		・利用者に活動に参加したいか確認をとっている ・個々の持つ力、目標に合わせて人数で活動している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		・ヒヤリハットや利用者各々の注意点を業務前に共有している ・学校休業日などでスタッフ全員での打ち合わせが難しいときも、必ずその一日の活動資料を作成し周知している ・午後から勤務のアルバイトスタッフにも打ち合わせから参加してもらっている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		・パートアルバイトスタッフであるが、退勤前にその日気づいた点について共有している ・支援終了後の打ち合わせ前に退勤するパート職員も気付いた点があれば申し送りする ・終了後に限らず、支援について常に共有する様心掛けている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9		・閉鎖的にならないよう、特に地域交流としての外出を忘れず取り入れるようにしている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		・集団遊びに必ずしも参加しなくてもよい ・活動を複数準備しておき、利用者が自己選択できるようにしている	
関係機関や	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9			・保護者の協力が大きい
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9		・保護者からの希望があれば応じている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9		・求められることがあれば対応している	

保護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	1	・必要があれば来所してもらい助言を受けている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	8	1	・公園に遊びに行く際に地域の子どもたちも交えて遊ぶことがある ・交流する意義を慎重に検討しながら機会を設けている	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	5	4	・担当者が適宜参加している ・可能な限り参加している ・参加はするが積極的ではない。現場を優先している	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		・定期的なアセスメントの他に日々の送迎時や必要に応じて電話、LINEなどでも情報共有している	・送迎時にもっと伝えたいが、複数名送迎するために時間が足りずいつも申し訳なく思う
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2	・今年、進学に向けての学びの場を設けた	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		・契約時に必ず説明している	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6	3	・保護者会で知り合った保護者同士が秋祭りのときに交流を深めている様子があった ・少ないが設けている	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	1	・月ごとに日々の活動の様子を撮った写真を保護者に送付している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		・活動写真送付サービスにつき撮った写真は早めに共有し写真フォルダから消すようにしている ・スタッフの個人スマホで撮った利用者の写真はアップロード後必ず削除している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	2			
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1		
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		・月に一度、毎月実施曜日を変更し行っている ・非常用の水の確保、ガラス窓に飛散防止フィルムの設置などを実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9			

非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2	・医師の指示書がない場合には保護者の指示に従っている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	2		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	5		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		・サービス前の打ち合わせで共有している ・ヒヤリがあった場合、その日のうちに共有し、再発防止策の検討と周知を心掛けている ・毎日している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		・三か月毎に虐待防止セルフチェックを実施している	・研修の案内はきていたが参加したことはない
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		・危険な行動が予測される利用者には、保護者に十分に説明し、身体拘束の同意者を交わしている	